

令和3年度 学校経営計画

木更津市立祇園小学校

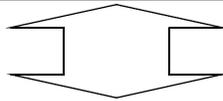
<経営方針>

教職員一人一人が力を十分に発揮し、その力を結集した機動力ある組織として学校経営を行う。また、学校と家庭・地域社会がそれぞれの役割を認識し、互いに協力し合いながらめざす児童の育成に努める。

<学校教育目標>

**互いに認め合い、励まし合って、
たくましく生きる児童の育成**

～笑顔いっぱい、優しさいっぱい、チャレンジいっぱい祇園小～



<めざす児童像>

○心豊かな子

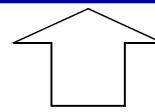
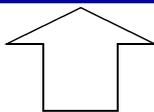
- ・思いやりの心を持ち、自分と相手を大切にすることができる
- ・明るくあいさつや返事をし、周囲の人と良い関係を築こうとすることができる。
- ・ルールやマナーを大切にし、善悪の判断をもとに行動することができる。

○学び、みがき合う子

- ・話をしっかり聞き、自分の考えを表現することができる。
- ・進んで学び、課題を解決するために考え、判断し、表現することができる。
- ・読書に親しみ、知性を高めることができる。

○心身をきたえる子

- ・目標に向かって、最後まであきらめずに物事に取り組むことができる。
- ・進んで運動に励み、体をきたえることができる。
- ・正しい知識による健康管理や命を守るための適切な行動ができる。



<千葉県教育委員会>

学校教育指導の指針

「生きる力」の育成

- ◎ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたカリキュラムマネジメントの確立
 - ・人生を拓く「確かな学力」を育む
 - ・思いやりのある「豊かな心」を育む
 - ・活力にあふれる「健やかな体」を育む
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・発達段階に応じた「キャリア教育」を進める
 - ・「地域とともに歩む学校づくり」を進める

<木更津市教育委員会>

学校教育「木更津プラン」

1. 学習習慣の形成
2. 心の教育の推進
3. 健康・体育・安全指導の充実

- ☆研修による指導力の向上
- ☆家庭・地域社会との協働
- ☆組織マネジメントの活用

<めざす学校像>

○清々しい感動のある学校

- ・子どもの成長の姿が見られる学校
- ・校舎や施設を美しく大切にする学校

○活気と躍動感のある学校

- ・明るくあいきさが交わされ、活力に満ちた学校
- ・気概と創造性にあふれた学校

○地域と共に歩む学校

- ・近隣小中学校・公民館との連携を大切にする学校
- ・家庭・地域社会との連携を大切にし、関係者（学校評議員、学校支援ボランティア、地域住民等）から協力と評価を得られる学校

<めざす教師像>

～めざす児童像・学校像を追求する「チーム祇園」～

- 子どもを愛し、子ども、保護者、同僚、地域から信頼される教師（信頼）
- 向上心をもち、自ら研鑽に励み、学び合う教師（向上心）
- 組織の目的を理解し、自分の役割を果たし、仲間と助け合える教師（組織力）
- 状況を正確に判断し、素早く・柔軟に行動できる教師（機動力）

<学校教育目標>

互いに認め合い、励まし合って、
たくましく生きる児童の育成
～笑顔いっぱい、優しさいっぱい、チャレンジいっぱい祇園小～

- 心豊かな子
- 学び、みがき合う子
- 心身をきたえる子

<重点事項> ～子どもたちの笑顔と成長のために～

(1)「心豊かな子」を育成するために

- ・自分の生き方を考える道徳教育や異学年で関わる交流等を通して、自他を大切にしようとする意識が育つようにする。
- ・日常的な挨拶や関わり合いを大切にし、他者と良い関係を築こうとする意欲が育つようにする。
- ・ルールやマナーの必要性に気付かせ、善悪を判断し行動する経験を通して、より良い意志決定力が育つようにする。

(2)「学び、みがき合う子」を育成するために

- ・伝え合う活動に日常的に取り組むことを通して、「自分から」「自分の言葉で」伝えようとする意欲が育つようにする。
- ・主体的・自律的に学ぶための「学び方」の指導を行い、家庭と連携して家庭学習を推進する。
- ・学年図書や学校図書館の定期的な活用を通して、読書活動の推進を図る。

(3)「心身をきたえる子」を育成するために

- ・運動やスポーツを通して、互いに励まし合い、目標に向かって粘り強く取り組もうとする態度が育つようにする。
- ・健康の保持増進と体力の向上を目指し、外遊びを奨励するとともに、体育科の学習と体育的行事の充実を図る。
- ・健康・安全で心身ともに充実した生活を送るための知識や習慣が育つようにする。

(4)安全・安心な学校の実現のために

- ・安全に関する日常的な指導や避難訓練等の防災教育の充実を図り、自他の命を大切にしようとする意識が育つようにする。
- ・情報を積極的に発信し、保護者との連携、協力を大切にする。
- ・地域、学校支援ボランティアとの連携を深め、木更津システムなどを活用して経営改善を図る。